

## 2006年度生活経済学会総会資料

### I 2005年度事業報告及び同決算報告

#### 第1 2005年度事業報告を承認した

##### 1 会員の現状

2006年3月31日現在の会員数は次のとおり。

会員種類	会員数	うち大学関係等
個人会員A	669	605
名誉会員	11	11
個人会員B	285	142
賛助会員	22	0
計	987	758

##### 2 研究大会の開催

(別掲)

##### 3 部会の開催等

(別掲)

##### 4 市民公開シンポジウムの開催

(別掲)

##### 5 「生活経済学研究」の発行

「生活経済学研究」の22・23巻合併号を次のとおり発行した。

内容	発行部数	発行年月日
巻頭論文、論文13編、研究ノート1編	1,050部	2006年3月

##### 6 総会・理事会・担当理事会の開催

###### (1) 総会

- 開催日 2005年5月14日
- 議事事項
  - ア 2004年度事業報告
  - イ 2004年度決算報告

- ウ 2005 年度事業計画
- エ 2005 年度収支予算
- オ 生活経済学会第 11 期役員について
- カ 新入会員承認報告

## (2) 理事会

- 開催日 2005 年 5 月 14 日
- 議事事項
  - ア 生活経済学会第 11 期役員の選任について
  - イ 2004 年度事業報告及び同決算報告について
  - ウ 2005 年度事業計画及び同収支予算について
  - エ 「生活経済学会理事及び監事の選任規程」の一部改正について
  - オ 2006 年総会での役割分担について
  - カ 新入会員の承認について
  - キ その他の報告事項

## (3) 担当理事会

### 第 10 回担当理事会

- 開催日 2005 年 9 月 1 日
- 議事事項
  - ア 第 22 回研究大会（2006 年度）の準備状況について
  - イ 第 24 回研究大会（2008 年度）の開催準備校について
  - ウ 2005 年度地方部会の開催予定等について
  - エ 2005 年度市民公開シンポジウムの準備状況について
  - オ 市民公開シンポジウムの開催方法について
  - カ 「生活経済学研究」誌の発行について
  - キ 個人会員 C の新設について
  - ク 会費値上げについて
  - ケ 第 12 期役員選挙の選挙管理委員会のメンバー検討について
  - コ 学会賞等の候補者の推薦について
  - サ 新入会員の承認について
  - シ その他 賛助会員、メーリングリスト・名簿作成

### 第 11 回担当理事会

- 開催日 2005 年 12 月 7 日
- 議事事項  
新入会員の承認について

### 第 12 回担当理事会

- 開催日 2005 年 3 月 31 日
- 議事事項
  - ア 部会経費について
  - イ 研究大会報告者及び討論者について
  - ウ 中国部会と四国部会の統合について
  - エ 宛名不明者の扱いについて
  - オ 生活経済学会表彰規程・細則の改正について
  - カ 理事選任規程の改正について
  - キ 2006 年度事業計画及び同収支予算について
  - ク 新入会員の承認について
  - ケ 2005 年度表彰について
  - コ 四国部会の理事について

第 2 2005 年度決算報告を承認した。

## II 生活経済学会会則等の改正について

第 1 生活経済学会会則の改正を承認した。

会費の値上げ及び個人会員 C の新設

個人会員 A は年額 8 千円に、B（大学院生）は 5 千円に 2007 年度より改定し、併せて一般個人会員（入会時に会員の推薦不要）の C（3 千円）を設ける。

第 2 生活経済学会表彰規程の改正を承認した。

生活経済学会奨励賞の年齢制限を 45 歳以下とする。生活経済学会推薦図書賞を創設する。

### 第3 生活経済学会理事及び監事の選任規程

投票は、理事の任期の終わる日の6ヶ月以内で、選挙管理委員会が定め期間に行う。

### Ⅲ 2006年年度事業計画及び同収支予算について

#### 第1 2006年度事業計画を承認した。

##### 1 研究大会の開催

(別掲)

##### 2 部会の開催

特に若手研究者の報告の機会を増やし、学会全体を活性化するために、所属部会以外での部会報告を認める。他部会からの申し込みはおおむね4ヶ月前までに事務局宛に行うこととする。

##### 3 「生活経済学研究」の発行

「生活経済学研究」(24巻)及び(25巻)を発刊する。

##### 4 学会活性化施策の実施

###### (1) 市民公開シンポジウムの開催について

2006年度は休止し、研究大会の共通論題を一般公開する。

###### (2) 生活経済学会賞等の選考

2006年度から生活経済学会表彰規程・細則の改正する。改正「応募要綱」をホームページに掲載する。

#### 第2 2006年度収支予算を承認した。

### Ⅳ 生活経済学会第11期役員について

四国部会の古結昭和理事(高知大学)に代わり、宍戸邦彦氏(松山大)の理事選出を承認した。

### Ⅴ 次の会員の入会が承認された。

個人会員A(41名)、個人会員B(30名)、賛助会員(1社)。

### Ⅵ その他

会費を3年分滞納した者を退会扱いとした。